

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジュニアスペース・らいぶ守山		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和8年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節に合わせたイベントの企画や活動内容の充実化や、児童の成長に合わせたプログラムの編成。	季節に合わせたイベントを行うことで四季の楽しみ方や、文化活動に触れる機会を用意している。プログラムの見直し、改良することで児童の楽しみに繋げたり、マンネリ化を防止している。	日々の支援やSNSを通じて児童のニーズや流行りを取り入れ、それを組み込んだ内容のイベントや活動を企画し、児童が楽しめる活動を模索していく。また、イベントの様子をお便りや申し送りで保護者様にお伝えし、ご意見を頂きながら振替を行っていく。
2	運動について専門性に特化している。	外部から専門の講師の方を招いて定期的に研修を行っている。また、らいぶ全店舗でミーティングを行い、プログラムの共有や見直し、意見交換などの機会を用意し、質の向上を図っている。	定期的に行う研修やミーティングを通じプログラムの内容や療育の質の向上を行い、全職員が同じ質で療育を行えるよう、周知していく。
3	運動療育を通じて集団行動を身につけられる療育内容に特化している。	個人種目やマンツーマンの内容だけでなく、サーキットやチーム戦を取り入れることで集団行動を身につけられる工夫をしている。	定期的に行う研修やミーティングを通じプログラムの内容や療育の質の向上を行い、全職員が同じ質で療育を行えるよう、周知していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員体制の充実に向けて調整を進めている段階であり、現時点では職員配置に工夫が必要です。 また、児童が併用して通所されている他事業所との連携についても、より円滑な連携体制の構築が必要です。	他事業所との連絡手段が整っていないため、今後は情報共有や意見交換の場を設けられるよう体制づくりを必要です。	職員の人員確保に向けて継続的に求人募集を行っています。新規職員については研修等を実施し、人数の確保と専門性の向上を図ることで、安定した職員配置の実現を目指してまいります。他事業所との連絡手段が十分ではない現状を踏まえ、より円滑な連携を図るための連絡方法の整備・検討を進めてまいります。
2	運動療育と通じて集団行動を行える反面、集団行動が苦手な児童に対しての個別のサポートやフォローについて、十分に行えていないように思われる。	運動療育を中心に行っている中で、個別対応に関する支援方針の整理や、職員間での話し合いをさらに充実させていく必要がある。職員体制の強化を進めることで、個別のサポートやフォローをより丁寧に行える環境づくりに取り組んでいくことが必要です。	求人募集を継続的に行い、より充実した支援体制の構築を目指します。職員間で話し合う時間を確保し、支援方針や児童の様子を共有しながら最適な支援方法を検討し、その内容を全体へ効果的に周知していきます。
3	強みである運動療育(運動)に対し、苦手意識がある児童にとって「行きたくない場所」という考えに繋がりがやすくなっている。	運動をしたくない児童と、らいぶの活動内容について、通所児童の中で気持ちのズレが生まれている。周りの児童と比べてしまう児童にとって、気持ちが沈んでしまうことがある。	余暇活動のさらなる充実や、運動が苦手な児童一人ひとりに寄り添った個別サポートの強化を進めてまいります。児童が前向きで肯定的な気持ちを育めるよう、明るく温かい声掛けを心掛けてまいります。